



本日はよくお参り下さいました

令和元年となりました。皆さまのようなお気持ちで、時代が移り変わる瞬間を迎えられましたでしょうか。平成最後の日は、朝から晩まで、御朱印を求めにいらっしゃる方があとをたちませんでした。「また明日来ます！」と言葉を残して帰られた方もいらっしゃいました。御朱印は、リアルタイムに時の経過を感じられますし、毛筆・神社の印という日本文化が詰まったものであり、また活字にはない温もりがあります。そういった要素が、日本人だけでなく、外国の方の心も、引きつけているのかもしれませんが。上皇さまが祈り続けてこられたように、我々国民も、令和が良い時代になるよう、祈りつつ過ごしてゆきたいものですね。権禰宜 道子



5月1日 即位の日

皇位継承などの皇室に関する事柄は、昭和22年(1947年)に制定された「皇室典範」に定められています。しかし、皇室典範には天皇の「退位」については定められていません。そこで、天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位を実現するための法律が平成29年6月に制定され、天皇陛下が今年4月30日限りで御退位され、皇太子殿下が直ちに御即位されることとなりました。御退位の日には、国事行為である国の儀式として「退位礼正殿の儀(たいいれいせいでのぎ)」が、御即位の日には「剣璽等承継の儀(けんじとうしょうけいのぎ)」などが行われます。そして、今年10月22日には、天皇陛下の御即位を公に宣明される「即位礼正殿の儀(そくいれいせいでのぎ)」などが行われます。今回のように天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位が同時に行われるのは約200年ぶりのことであり、憲政史上初めてのことです。国民こそ御即位に祝意を示すため、「天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律」が制定され、今年5月1日の「天皇の即位の日」、同年10月22日の「即位礼正殿の儀の行われる日」が、今年限定の「国民の祝日」に定められました。(参考 政府ホームページより)



天神さまの豆知識

—自然の働きに

神を見出し出した日本人—

神道とは、端的に

いえば神社を中心と

した日本の神々への

信仰のことです。古

来、日本人は衣食住

にまつわるさまざまな恩恵を自然か

ら授かってきました。その一方で、台

風や長雨、日照り、雷、地震、津波と

いった自然現象に恐れを抱くなかで、

日本人は自然の働きのなかに神の姿

を見出しました。神々をまつる神社の

多くが、自然豊かな地に建てられてい

るのは、日本人が古来、自然の中に神

を感じ、自然との調和を大切にでき

たことによりです。やがて六世紀に仏

教が伝来して初めて外来宗教に接し

た日本人は、固有の伝統宗教を神道、

すなわち神の道と認識したのです。

参考文献『神道としきたり』茂木 貞純

監修



今月の言葉

『使わねばへりて

使えばふえる物は

智と力なり』

海保青陵「経済談」より

物は使えば消耗する。しかし人間の知恵と力は逆である。使わなければ少なくなり、使えば使うほど増えるのだ。日々の勉強、訓練、経験の積み重ねは、頭と体を鍛える。使い続けてこそ、知識は知恵となり、体は考えるより早く動く。能力が劣っていくことで誰でも、使い続けていくことで誰でも知恵と体力は増えていく。使った分だけ得をする。頭と体は使ったほうが得だ。恐ろしいのは使わなければ減っていく一方だということだ。

海保青陵(一七五五—一八一七)経済思想家。朱子学などの教養を踏まえ、日本の伝統にたつ経済論を展開。

引用・参考『神道

のことば』武光誠

監修 平成二十六

年六月(株)河出書房

発行

